

埼玉県思いやり駐車場制度の 実施状況について

埼玉県内における思いやり駐車場制度の実施状況について

協力区画登録状況

(R6.3.31現在)

施設区分	施設数	区画数	うち	
			車椅子区画	優先区画
国・県・市町村有施設	1,762	4,931	3,628	1,303
民間施設（商業・医療・福祉等）	1,114	2,284	2,046	238
計	2,876	7,215	5,674	1,541

利用証交付枚数

(R6.3.31現在)

	青 車椅子利用者 	緑 要介護高齢者 その他障害者等 	オレンジ 妊産婦 けが人等 	計 (県・市町村別)
	県	349	1,133	792
市町村	1,905	6,922	1,971	10,798
計（色別）	2,254	8,055	2,763	13,072

全国の中での埼玉県 ①登録施設数

独自調査①

パーキング・パーミット制度を導入している各府県に対して令和6年7月末時点の登録施設数を調査しました。

順位	県名	施設数	備考
1	埼玉県	2,925	
2	福岡県	2,698	
3	三重県	2,233	
4	熊本県	2,211	
5	鹿児島県	2,012	
6	兵庫県	1,920	
7	佐賀県	1,913	
8	静岡県	1,650	
9	京都府	1,546	R6.6月末時点
10	広島県	1,489	R6.8.22時点

登録施設数上位10府県 埼玉県 1位

(補足)

パーキング・パーミット制度を導入しているものの、施設の登録・管理を行っていない県もあります。

千葉県：施設数の届出・把握なし

茨城県：県内全ての障害者等のために設置された駐車施設を対象



全国の中での埼玉県 ②登録区画数

独自調査②

パーキング・パーミット制度を導入している各府県に対して令和6年7月末時点の登録区画数を調査しました。

登録数上位10府県
埼玉県 1位

(補足)
・パーキング・パーミット制度を導入しているものの、施設の登録・管理を行っていない県もあります。

・「車椅子用区画」「優先駐車区画」という区分をしていない県もあります。

順位	県名	区画数	うち		備考
			車椅子用 駐車区画	優先駐車 区画	
1	埼玉県	7,388	5,760	1,628	
2	福岡県	6,044	5,294	—	車椅子用駐車区画と一般駐車区画で区別
3	兵庫県	4,948	3,616	1,332	
4	三重県	4,667	—	—	車椅子用駐車区画と優先駐車区画の区別が無い
5	鹿児島県	4,476	—	—	車椅子用駐車区画と優先駐車区画の区別が無い
6	岐阜県	4,382	2,690	1,692	
7	熊本県	4,365	—	—	障がい者等用駐車場を車椅子専用区画としていない
8	広島県	4,102	3,302	800	R6.8.22時点
9	長野県	3,673	2,198	1,475	
10	京都府	3,075	2,350	725	R6.6月末時点



啓発活動について

今年度実施した活動

- 包括協定事業者（日本郵便）にチラシ・ポスターを送付
- さいたま市保健所作成の難病ハンドブックに制度の案内を掲載
- 令和6年6月22日に浦和レッズ本拠試合にて啓発活動を実施
- 商業施設などでのポスター掲示、店内放送の実施
- 県や市町村の広報紙でのPR、県SNSでの情報発信 など



▲埼玉スタジアム2002での啓発キャンペーンの様子



▲ポスター

今後の啓発活動 (予定)

- 県庁オープンデーを利用した啓発活動
- 制度開始一年（11月）に啓発活動を実施 など

県民からの意見 今後の検討課題

昨年11月の制度開始以降、県民から寄せられた意見について、事例を共有いたします。

事例の共有 ①

【概要】

オレンジ色の利用証を有する妊婦が、ある施設の駐車場を利用しようとしたところ、優先駐車区画にコーンが置かれており駐車できなかった。身重な状態で路肩に一旦停車し、係の職員に伝えに行かなければ駐車できないのは大変危険である。

事例の共有 ②

【概要】

駐車証を有していない要介護高齢者等が乗車した自動車が、ある施設の青色駐車場に駐車しようとしたところ、職員から「利用証が無ければ駐車してはいけない」と言われたことについて、抗議の電話が寄せられた。

県民からの意見 今後の検討課題

課題 協力施設側の、本制度に対するさらなる理解向上

【事例1】コーン等で塞がれた駐車区画

駐車場に整理員等がない状況でコーン等が置かれていた場合、本事例のように、一旦車を降りて駐車許可を得る必要があります。

まずは、一人でも多くの県民に本制度を周知し、障害者等用駐車場の不適正利用が発生しない環境づくりに努めてまいります。そのうえで、協力施設向けマニュアルにもコーン等で駐車場を確保しないよう記載してありますので、今後も協力施設に対して周知していきます。

【事例2】利用者証を持っていない障害者等の区画利用

本制度の趣旨は、利用者証を有さない方を排除することではなく、区画の不適正利用を防止することです。利用者証を有していない場合も、その方が広い駐車場を必要としている場合には

- ①必要とする方の駐車区画の利用を妨げない
- ②利用証なしで利用している方に制度を御案内いただきたい 等のことについて周知していきます。

県民からの意見 今後の検討課題

その他、県民・障害者団体から寄せられた意見

- 多胎児の妊産婦について、青色利用証の対象にしてほしい
- 民間施設の協力区画を拡充するよう促してほしい（埼視協、埼障協）
- 塗装が薄くなっている駐車場の適切な保守管理（埼視協）



他府県の状況や対応を確認し、今後検討してまいります

アンケートによる意見調査（予定）

制度開始から1年が経過するタイミングで、障害者団体や協力企業にアンケートを行い今後の改善につなげていきたいと考えています（質問項目は検討中です）。

（例1）障害者団体へ：制度開始前と比較して障害者用駐車場が使用しやすくなったか？

（例2）協力施設へ：制度開始後にお客様同士のトラブルが減ったか？

【参考資料】県内の企業・団体等への協力依頼

企業への依頼

令和5年度中から、県内の経済団体等に訪問・電話等の方法で協力を依頼
今年度は、県内の大学・医療機関・国の施設に対して重点的に依頼を予定

区分	団体名等
経済団体	商工会連合会、商工会議所連合会、中小企業団体中央会、経営者協会、経済同友会、中小企業家同友会
商店街関係	商店街連合会、商店街振興組合連合会
医療機関	医師会、歯科医師会、病院機構
社会福祉施設	県社協、老施協
商業施設	百貨店協会、ショッピングセンター協会、チェーンストア協会、日本フランチャイズチェーン協会、全日本ホテル連盟、ユニクス、ベルク、エコス、ヤオコー、いなげや、ベイシア、コモディイイダ、サミット、カスミ、東武ストア、オリンピック、ロジャース、マルヤ、ドンキホーテ、マックスバリュ、ダイエー、マルエツ、オーケー、とりせん、スーパーバリュ、マミーマート、ららぽーと、三井アウトレットパーク、ララガーデン、ステラタウン、コクーンシティ、伊勢丹浦和・コルソ、丸広、セキチュー、島忠、カインズ、ビバホーム、ニトリ、マツモトキヨシ、ウエルシア、サンドラッグ、富士薬品（セイムス）、セキ薬品、カワチ薬品、クスリのアオキ、ドラッグエース、デイリーヤマザキ、ポプラ
その他	ぎょうざの満州、るーぱん、がっせん寿司、山田うどん、馬車道、ネッツトヨタ
包括協定締結企業	イオンリテール（株）、（株）イトーヨーカ堂、生活協同組合コープみらい、そごう大宮店、（株）セブン-イレブン・ジャパン、（株）ファミリーマート、ローソン、ミニストップ、（株）埼玉りそな銀行、（株）武蔵野銀行、埼玉縣信用金庫、東日本高速道路株式会社（NEXCO東日本）、西武ライオンズ、日本郵便、損害保険ジャパン、日本生命保険相互会社、東京海上日動火災保険、第一生命保険、明治安田生命、あいおいニッセイ同和損害保険、三井住友海上火災保険、ドコモ、パルシステム

※上記は依頼先の一覧であり、諸事情により施設の登録をいただいていない企業も含まれます